



留学を通じて「将来のために必要な新しい技術や知識を手に入りたい!」と思うようになりました。

【学習面】

韓国語の授業は初級で、ハングルを覚えることからスタートし、数字の数え方、自己紹介、日常生活の表現などを学びました。クイズが頻繁に行われていたので、復習も頻繁にするようにしていました。韓国語の授業はアットホームな雰囲気、150分という授業時間でしたが、毎回楽しんで授業を受けていました。韓国語のレベルはもちろん伸びましたが、それ以上にこの授業で英語力も伸びました。クラスメイトはみんな留学生なので、授業中や休憩時間にたくさん英語を使いました。

その他にも英語開講科目の授業も履修しました。Foundation of Business Englishという授業では、ビジネス英語の基本的なことを学び、将来海外で働くときにとても役に立つ内容だったので、この授業を履修できて本当に良かったと思いました。

【生活面】

海外の人との会話では、会話に“間”がないので、普段からたくさ

んのことを発言していた人の方が会話に入りやすいと感じました。レストランでの注文はタッチパネルが多く、とても便利で、会計もカード払いがほとんどで、現金を使う機会はごく稀でした。

【安全面】

一番注意した方がいいと思ったのは、車の運転が荒いので、よく周りを見て歩くこと。歩行者優先の考え方がないので、車が近づいてきたら、安全のために車が通過するのを待った方がいいことです。

【感想】

今回の留学生活で学んだことは、自分の知識不足と英語力を補うだけの勉強だけでは足りないということです。私はドイツ人のルームメイトといろいろな話をしました。歴史の話、宗教の話、日本の文化の話、人種の話、将来の話など、たくさんの意見を交わしました。その中で、自分がどれだけ無知なのかを思い知らされました。ただ英語を学ぶだけでは中身のある会話ができないことをそこで学びました。「あなたはどう思う?」と聞かれた時、知識が乏しかったせいで、答えを返すことができませんでした。

また、留学生の多くがヨーロッパ出身の学生で、私と同じ英語が第二言語にもかかわらず、流暢に英語を話せて、それぞれが自分の夢のために勉強している姿を見て、自分がいかに遅れを取っているかを思い知りました。

大学卒業までに可能な限り知識をたくさん蓄えたいと思わせてくれた留学でした。



行動することの大切さを知り、常に肯定的に考え、決断選択する力が身につきました。

【学習面】

授業のほとんどが英語で行われます。各自のPCなどを使いながら講義を受けている学生が多いようでした。活水で受講した授業と似たような内容でも、英語や韓国語での説明は耳に新しく、単語力や理解力が身につきました。

【生活面】

日常生活はほとんど韓国語を使っていました。買い物や公共施設では韓国語が必須なので、特に日常会話が上達しました。

また、2つのサークルにも所属したので、近隣大学の学生たちとの交流も多くありました。

休日は、好きな韓国アイドルのライブに行ったり、カフェ巡りをしたり、テーマパークに行ったり、旅行に行ったりしました。韓国人や他

の留学生と一日中日本語ではない言語で話しながら、休日も学びを大切に過ごしていました。ウィッシュリストを作り、一つ一つ達成していき、後悔のないように遊びも全力で楽しみました。

【寮生活】

寮での生活はとても快適でした。ルームメイトがいる期間は、ルールを決めるなどして生活をしました。ルームメイトともいい思い出がたくさんできました。

【感想】

生まれ育った町を離れるのが最初はとても不安でした。しかし、一人で準備・行動することに慣れると、自ら積極的に行動すること、分からないことはすぐに調べることが大切だと感じました。英語や韓国語でのメール、電話が多いことも良い経験になったと思います。この留学で得た知識や経験は一生忘れないものになると思います。



授業料・渡航費・生活費が免除される韓国政府の給付奨学金プログラム*に採用されました!

*「2023 日韓共同高等教育留学生交流事業学部短期過程」

【学習面】

平日は、基本毎日9~16時まで授業があり、科目は「韓日異文化コミュニケーション」「映画で見る日韓の社会と文化」「日韓翻訳実習」「韓国語特講 I・II・III」「文化体験」がありました。日本語と韓国語を混ぜて行われる授業など、授業形態は様々でした。文化体験の授業では、ロッテワールドに行ったり、キンパや伝統菓子を作ったり、韓服を着たりしました。

【生活面】

徳成女子大学はソウルの北にあり、山に囲まれていて、自然豊かなキャンパスでしたが、ソウルの中心部からは少し離れていました。

韓国は、交通費が安く、授業終わりや週末は自由時間だったため、他の研修生や韓国人バディと遊びに行きました。

韓国ではクレジットカード払いが主流なので、私は WOWPASS を利用しました。各駅にチャージする機械が置いてあり、両替所に行かなくても日本円からウォンを引き出すことができ、さらに交通

系カードと一体型になっていることもすごく便利でした。

【異文化の気づき】

韓国人は「パリパリ文化」といわれるほどせっかちだということは知っていたのですが、予想以上でしたが、慣れてしまえば、スムーズさが良いと感じるようになりました。

最もカルチャーショックを受けたものは「トイレ」です。駅や空港、学校、寮ではトイレトペーパーを流すことができたのですが、流せない場所もあり、置いてあるゴミ箱に捨てなければなりませんでした。

【感想】

韓国の方は、自分の気持ち・考えを相手にきちんと言葉で伝える、少し欧米よりだと感じました。また、韓国の学生は勉強への意識がすごく高かったです。資格を取ったり、多言語を習得したりと、大学生になっても勉強を続けていました。

何より私の視野を広げてくれたことは、研修に共に参加した19名の学生に会えたことです。興味があるから・自分の価値を高めるため・世界を知りたいなどの理由から、自分のやりたいように楽しく学んでいて本当に刺激になりました。

都会で過ごすレベルの高い学生に会えたこと、韓国社会や韓国人への気づきを得る機会をいただけたことは、私の人生において大きなチャンスだと思っています。これから、もっと語学学習に本腰を入れて取り組み、勉強を頑張りたいと考えています。